

令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： 巧緻性

活動 つなぐ

チェーンをつないで大小長短の理解を深める

環境をデザインする

●準備した物

チェーンリング

探究活動を実践する

●活動内容

たくさんつなぐ体験をする
大小、長短を比べる

●子どもたちの様子

大きい封筒や長いチェーンを見て、「大きい」、「長い」と気づいて声を上げていた。つなぎ方と外し方を伝えると、わからない友達に教える姿もみられた。精いっぱいつなげたものを「長い」と感じ、長く出来たことを誇らしく話したり、友達のチェーンと積極的に比べたがる姿があった。長くつなげたチェーンを外すのは時間がかかったが、早く終わった友達が助けるという姿がみられた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

先月ハロウィン製作で折り紙での輪繫ぎを経験したことから、チェーンを1本に繋げることがスムーズにできていた。途中でつなぎ目が分かれてしまう様子もなかった。どんどん長くなる様子を喜び楽しんで活動内容が簡単であったり方法を想定しやすかったことから、講師の指示を聞く前に進めてしまう児も半数ほどいた。「まだ待っててね」「お話聞こうね」などと保育者が声掛けをしていった。

講師より

大きさや長さの違いに自ら気づき、言葉で表現しようとする姿から、比べて考える感覚が育っていることがうかがえた。チェーンをつなぎでは「もっと長くしたい」という意欲が高く、つなげたものを比べることで長さの違いを感じようとしているようだった。つなぎ方が分からない友達や、外すのに時間がかかる友達を助けたりするなど、協力し合う姿も見られたので、友達と関わりつつ巧緻性を育てられるような時間を引き続き取り入れたい。

活動スケジュール

3歳児クラス

| | |
|------|------------|
| 日にち | 令和7年11月14日 |
| 時間 | 30分 |
| 参加人数 | 10人 |



令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 仲間分け

物の特徴や用途を理解し、仲間分け（分類）する力を育てる

環境をデザインする

●準備した物

カード

探究活動を実践する

●活動内容

物の特徴や用途を考える
なぞなぞを体験する

●子どもたちの様子



全部のカードを並べると「食べる時に使うものだ」と気が付き、「箸は大人が使っている」「スプーンとフォーク、輪っかが付いている箸を使っている」など話す姿があった。湯呑を初見の子どもが、カップ、コップ、湯呑で仲間に分けていた。なぞなぞでは答えのカードを急いで探そうとしたり、自分の答えが間違っているのに気が付き、直せたことに満足した表情を見せる子もいた。初めて知った「そそぐ」という言葉を自然に使う姿も見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

食事することに関わる物の小さなカードを使って、物当てクイズ・部類分けを行った。物の名前は知っている物が多かったが、子どもによってはおわんとちゃわんの違いなど知らない児もいた。だが、自分たちが普段使うものではない、しゃもじやおたまの名前も答えられる児もいた。いくつか特徴を出し、そのものを当てるのだがしゃもじとスプーン、おたまとスプーンなど、扱うものは違っても用途の違いを聞き分けられずに間違える姿も見られた。部類訳では、食べる際に使う、器でも飲み物と汁物でちがうなどなんとなく分けられることが出来ていた。質問の理解やイメージが付かず部類分けは出来ない児もいた。

講師より

カードを並べて共通点に気づいたり、自分が使っている道具との違いを言葉で説明したりする姿から、生活での経験をもとに分類や比較を行う力と言葉で表す力が育っていると感じた。初見のものでも特徴を捉え仲間分けようとしていたり、「そそぐ」という新しい言葉を使ったりする姿から、新しい物でも自分なりに取り入れようとする積極的な気持ちを感じた。今後も子どもの気づきを言葉につなげられるような関わりを重ねていきたい。

活動スケジュール

4歳児クラス

| | |
|------|------------|
| 日にち | 令和7年11月14日 |
| 時間 | 30分 |
| 参加人数 | 10人 |

令和7年度

パピーナ南荻窪保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 数の仲間分け

順序数を理解する

環境をデザインする

●準備した物

カード

●活動内容

仲間分けをする

数を調べて並べる

●子どもたちの様子

3、4枚の中から6枚の数字カードがすぐに探せない子どももいたが、一枚ずつ探すことの大切さを伝えると、最後まであきらめなくて自分で探す姿がみられた。仲間に分けていくと、同じ絵柄のカードは6枚と気づく姿があった。好きな仲間とカードを分ける中で、数の順番に気が付いて、絵別に数の順番に表のように並べる姿もみられた。しっかりと話をきいて、最後の片付けまで丁寧にしようとする様子が見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

ステップでは、3、4枚のカードの中から数字を探したり、動物を探したりした。ほとんどの児は講師の先生の話聞いていて、指示通りに動いていたが、子ども同士で話していた児は指示が分からなくなっていた。保育者が話を聞くよう促すと次からはしっかりと話を聞いて指示も通っていた。その後は、絵のついたカードと数字のついたカードを使って表を作る。ほとんどの児が作り方を理解し、表を作れていた。ステップの4、5分間、頭を使ったからなのか、終わる頃にはみんな疲れた様子だった。

講師より

カードを一枚ずつ探す活動を通して、最後まであきらめず取り組む姿が見られ、集中力や粘り強さの育ちが感じられた。仲間分けを行う中で「同じ絵柄は6枚ある」と気づいたり、数の順番に沿ってカードを並べたりする姿から、数の感覚や順序数の理解が深まっていることがうかがえた。話をしっかりと聞き、片付けまで丁寧にしようとする様子から、取り組む意欲や生活習慣の力も育っていることが感じられた。今後も数への興味や丁寧な生活習慣の意識を持ち続けられるような環境を作り続けたい。

活動スケジュール

5歳児クラス

| | |
|------|------------|
| 日にち | 令和7年11月14日 |
| 時間 | 45分 |
| 参加人数 | 10人 |

